

行財政プランの基本方針

伊丹市行財政プランの基本方針

厳しい社会情勢のもと、限られた財源のなかで、継続的に市民サービスの提供をおこなっていくには、効率的・効果的な施策展開をおこなっていかなければなりません。

地域主権改革のもと、市民とともに「夢と魅力のあるまち伊丹」を築いていくために、本来の行政の役割や税金の使い方について検証を行い、持続可能な行財政基盤を構築していくことが必要となっています。

市民への情報提供の充実

- ・行財政の状況と課題
- ・分かりやすい「財政状況」説明資料

市民意識の向上

本来の行政の役割 税の使い方

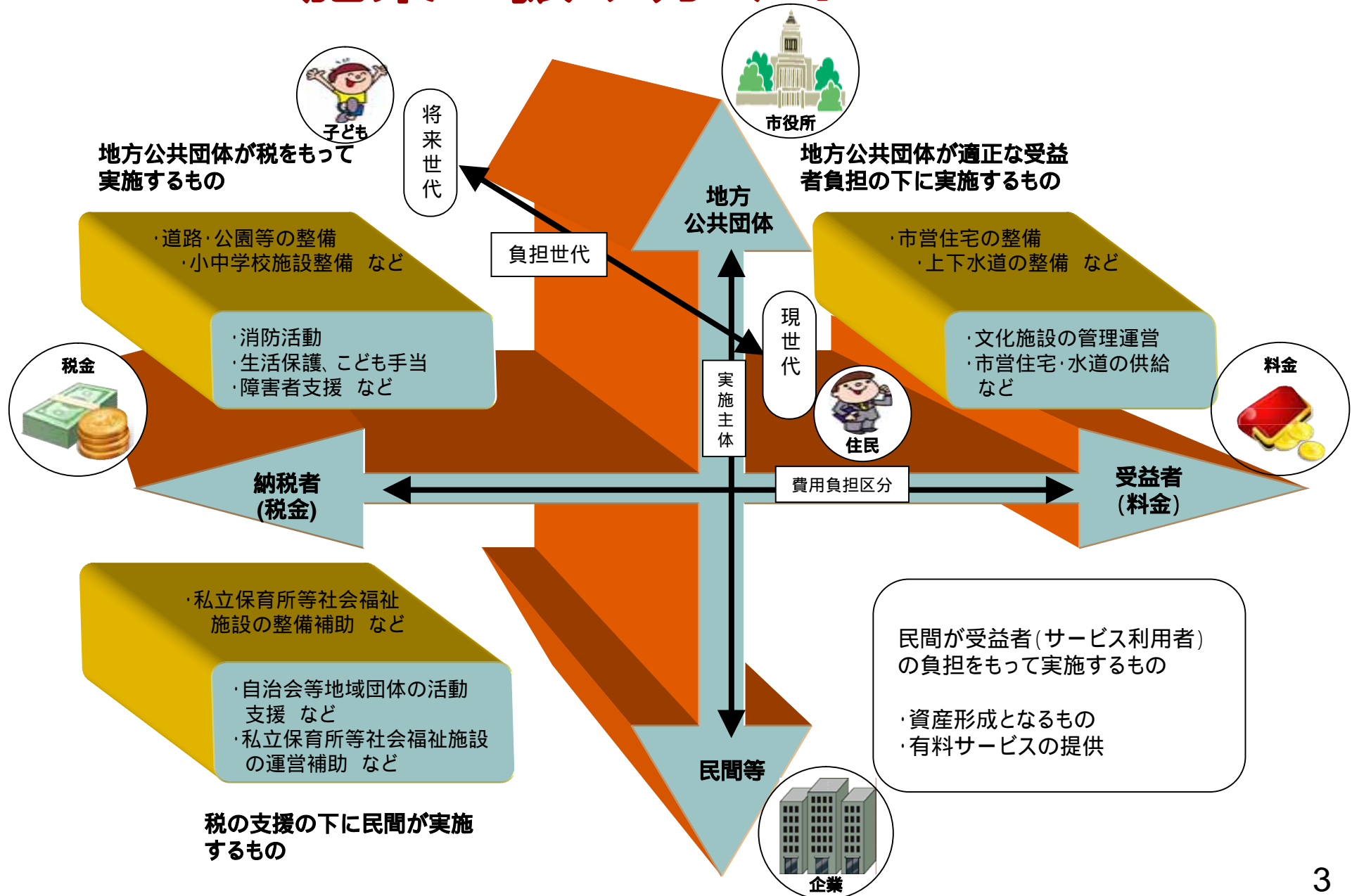
- ・行政がする事業か民間が実施する事業か
- ・行政コストを誰がどのような形でどれくらい負担すべきか
- ・高いサービスには高いコストが必要

検証

・事業・施策の抜本的見直し

・受益と負担の適正化

施策の振り分けイメージ



市民とともに考える



本来の行政の役割

実施主体は？

- ・行政で実施するもの
- ・民間で実施するもの



増加する扶助費

- ・生活保護の増加
- ・子育て支援、福祉サービスの充実

公共施設のマネジメント

- ・老朽化による維持管理費の増
- ・建て替え

税金の使い方

費用負担は？

- ・税金を使うもの
- ・使用料、手数料を使うもの

世代間負担は？

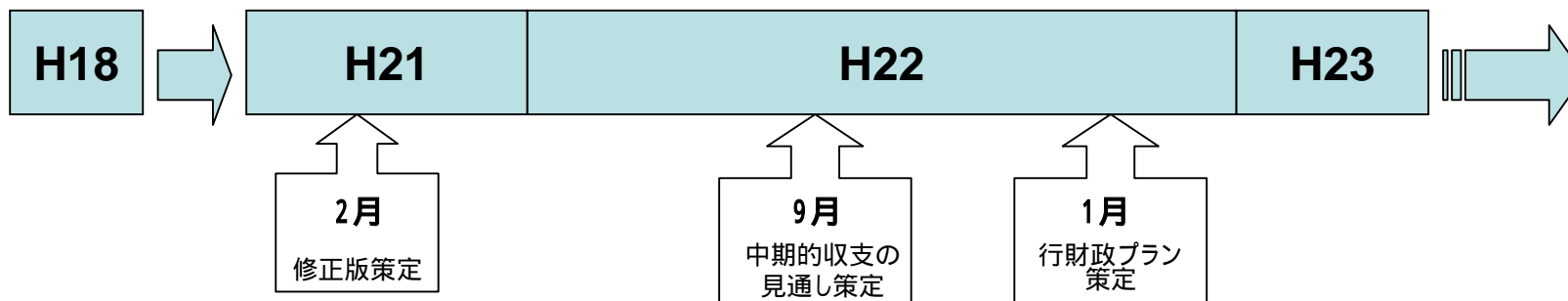
- ・現世代が負担するもの
- ・将来世代が負担するもの



全ての公共サービスには
人、金、物が必要

高いサービスはしてほしい

行財政運営改善計画修正版・行財政プラン策定のフロー



行財政運営改善計画 (H18 - H22)

< 修正版 >

- ・ H22は事務事業の総点検による事業の見直し
- ・ 社会経済情勢を反映した修正版で対応

参画と協働

行財政プランの策定

- 中期的財政収支見通しの策定
- ・ 社会経済情勢や市民ニーズの変化に即応
- 行政の原点に立った事業検証
- ・ 市民ニーズへの対応
- ・ 税をもって実施する効果
- ・ 適正な受益者負担
- ・ 未収金対策等財源の確保

行財政プラン (H23 - H27)